

< 今日の説教のポイント ルカによる福音書 20 章 27～40 節 >
私たちの想像力を超えた復活について聖書はどう語っているのか。

1 サドカイ派：モーセ五書に書かれていないことは認めない。

サドカイ派の人々は、モーセ五書（創世記から申命記まで）に書かれていないことは信じませんでした。したがって復活も否定していたのです。しかし、本当に隣み深い神様を信じる人は、旧約時代から、死で終わるはずはないと信じていました（詩編 16:7-11）。

2 かの世をこの世の延長で考えてはならない。

サドカイ人の問いかけに「なるほど」と思うかもしれません。しかし、それはかの世がこの世と同じような世界なら言えることですが、この世界を造られた神様が違う世界を次に用意して下さっているならそれに沿って考えなければなりません。イエス様は、神様が今の世界とは異なるもっと素晴らしい世界を用意して下さっていることを伝えられたのです（34-36）。しかし、イエス様がそう言われたからと言って、なぜそれを信じられるのでしょうか。サドカイ派の人たちはイエス様を殺す方向に突き進んでいきました。それはなぜでしょうか？

3 イエス様の復活抜きに復活を問うても意味ない。

イエス様はサドカイ人の質問を見事に退けられました。しかし、復活に関してはまだ一番大事なことが抜けています。私たち人間の復活、つまり死後どうなるかについては、イエス様が復活されたということ抜きで考えても抽象的な議論をしたに過ぎません。そうではなく、①イエス様が死なれた（人間によって殺された）、②そのイエス様を神様が復活させられたことに私たち人間の罪の赦しを見なさいと神様が言われた、③だから、信仰深い旧約の信仰者と同様に、死後ももっと大きな恵みの世界を用意して下さっている神様を信じて今を生きる、これが私たち信仰者が復活について考えるべき順番であり内容なのです（使徒言行録 2:22-36）。今日の個所の 37-38 節で、イエス様はこれまでの信仰深い者たちを「死んだ者」とは考えておられません。こう言われています、「すべての人は、神によって生きているからである」。信仰者だけでなく、すべての人が神様によって生かされているのです。イエス様の死と復活の出来事は、すべての人にこの神様に立ち返って生きよと呼びかけられている出来事なのです。